

Patchouli and
the Chamber
of Secrets

秘
密
の
部
屋

ハ
チ
コ
リ
様



R18
DOUJIN
Adult only



キン...

あー
出てきた...

ある日
深夜まで
本の整理を
していたら

まさか
あんなところに
仕掛けが...?
わ...
自動で
閉まってく...

ゴ
ゴ
ゴ
...

偶然にも

パチュリー様の
隠し部屋を
目撃して
しまいました

咄嗟に
隠れちゃった
けど...

パチュリー様...
こんな夜更けに
何をして...??



いやー
パチユリー様
といえは…

幻想郷随一の
知識人とも
称される御方—

常に探求と研鑽を
欠かさない…
叡智の至宝とも
言うべき人なのです

そんな御方の
隠し部屋…!



今が
チャンス
です…っ

よし…
パチユリー様は
寝所に帰った
みたいですよし…

以前には
ロケットを建造した
事もありますし…

想像するに—
あの隠し部屋は
秘密裏に研究を
するための工房に
違いなないので



きっと中には
高次元魔法か…
巨大ロボットか…っ

たしか
こう開けて
………

はたまた
大悪魔召喚や
人造自立生命体か…!?





僕には想像も
つかないような
ものがあるはず...!

そんなの...
見てみたいに
決まっています!

あつ
開きそう

すみません
パチュリー様...
ちよつと
覗くだけ
ですから...



ちよつと
パチュリー様...っ

朝とはいえ
寝巻のまま
歩き回るのは
だらしないですよ

ん...
ちよつと
寝不足で...

目覚めのお茶
飲んだら
着替えるから...

もう...
仕方がない
ですね...





な…なんで
この部屋に
この子が…

い いや
それよりも…

みみみ
見られ…た…

バレた…ツ
私の…秘密…ツ



私が…ここで毎夜…
エロ魔導書の
魔力を浴びて

甘イキ
しまくってる
事が…!!

マ マスイ…
この事がみんなに
知られたら…

めいあめい



どぞどぞどぞ
どうしよどぞ

友人として
恥ずかしいわ…
ムチムチの
ムッチュリーさん



こんなもの
集めてるなんて…
なにが
歌智のバチュリー
ですか

これじゃ
エッチな
ムッチュリーですっ!!



——って
アンタも
なにしてるの
おおおおお!?



おっしり!
おっしり!
おっしり!
気持ちい!

まさか——ッ

自我をなくして
エロ魔導書に
操られてるの…っ!?

エロ魔導書の
魔力がこんなに
強かったなんて…っ

おっしりって
言うなあ…!



しかも
擦りつけてる
しっ!?!

や…止め
なさ…っ!





とはいえ—
相変わらず
暴走はした
まま…

濃密な魔力が
ちんちんに
取り憑いてる…



ふう—

この場は
なんとか…
なった…わね



エロ魔導書…
なんて厄介な
代物なの…っ



ほら…
来なさい…♡

さすが
私の叡智…
こんな状況でも
活路を
見出したわ…っ！



ちんちん握られると大人しいわね.....

また射精ちゃったね.....
これで4回目...

射精の事しか考えられないのよね?.....



精液を出すたびにこの子から魔力が減っていくのを感じる.....

うっ.....
うっ.....
はいはい.....
もっとね?.....



はい.....
5回目のびゆるるう.....

つまり.....
ゴシさえ治めれば.....
私の秘密はバテずに済んで.....
私の尊厳は守られたまま.....!!



にぎにぎしてあげるから.....

このまま元凶である魔力を出し切れれば暴走は治まるし.....
自我が戻った時には暴走時の記憶は残っていないはず.....!!

ドコ...

所詮—ただの
エロ魔導書…っ

性欲しか
脳の無い単純で
低俗な存在…

そんなもの
私の叡智の前には
無力って事…っ

ふふふ…っ
もう一息
つてどこかしら…

このまま
記憶がなくなるまで
搾り尽くして—

ふお？

なに…これ…っ

身体の中から
ジワジワ快感が
脈打つみたいなの…

精液の中の
魔力のせい…？

そっか…
人を操れるほどの
魔力を濃縮して
抽出されてるから…

こんなの…
直接取り込んだら
…っ



オマケ

おまけ



そ そうよ…
 ちよつど
 手でするのも
 疲れたところだし…

射精させるなら
 コッチの方が
 効率良いし…



こつするものが…
 合理的…っ

私…賢い…
 叡智すぎ…っ

一気に……って
すぽお……って
入っちゃっ……っ

私……そんな……
濡れて……っ？

いや……
違うし……

私……全然エッチ
じゃないし……
叡智だし……っ

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

おんおん

おんおん

おんおん

だから……
魔導書風情に
本気でイカされたり
なんかしないし……

よ 余裕
だけ……

少し……
ゆっくり……
しよ……かな……っ

は……ん……っ？





今敏感なのにおっぱい弄っちゃ…っ

ちゅちゅ…っ

ダメ…っ
おっぱい…っ



え…嘘っ
中でビクッて
して…!?

ちゅちゅ
まさか…

待つて…っ
今はムリ♡
今はダメ♡

今…私っ

イッてる最中
なのに…っ



熱い...
熱い...

流れ
込んで...

止まな...
...う

ジュン

ジュン

ジュン



こんなの
.....

気持ち
良すぎて
.....
♡



じゃあ



そっか...
魔力... 治まって
きたのね...

良かった
わ...



う... あ
... あれ...?

ぼく... は...
一体...?

ああ...



魔力
補充しちゃった
……♡



……♡



ああ……
ごめん……♡

間違っ……

手強い



今度の魔力は
手強いから……
一昼夜かかっちゃう
かも……♡

でも安心
……♡



エッチな事させる
わる〜い魔力は…

せ〜んぶ
搾りだして
あげるから…

はっはっは

はっはっは

ぐわんぐわん

はっはっは



魔力溜まって
苦しいね…

辛いよね…

はっはっは

大丈夫
だよ…

今はあ…
何も考えずに…

エッチな事だけ…
射精の事だけ
考えて…え

はっはっは

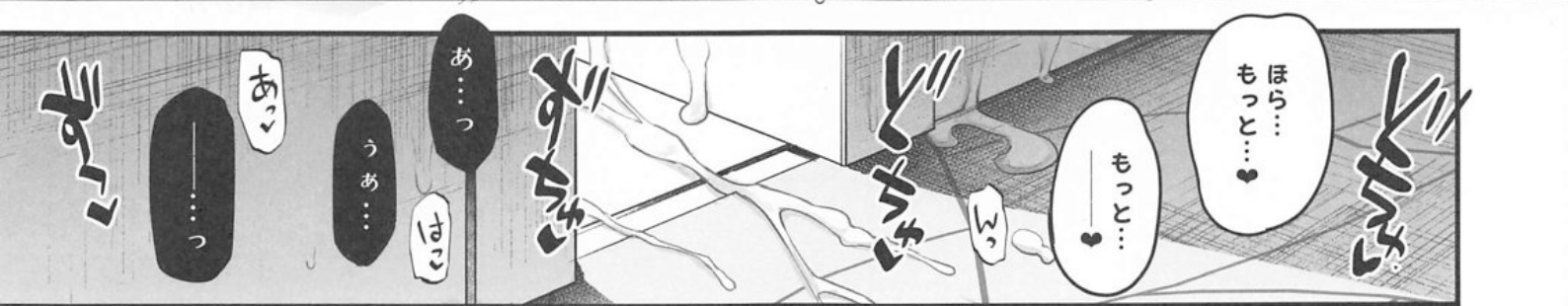
ぐわんぐわん

はっはっは



私の瞳内
貴方ので満たされ
ちやうまで……

びゅっびゅ
しちやおうね
……♡



ほら……
もっと……

もっと……

あ……

うあ……

あ……

……

……



おや
今日は随分
眠そうですね
昨日は
ちやんと
眠れましたか？

あ……っ
すすいま
せん……っ！

昨日は……
その……



……



おっと——

相乗りする気かい？



とんだ

ハリキリボーイの

おでしたな

作者 みちきんぐ

製本協力 よもぎ

題字 やまさん

発行日 ■ 2023/12/31
発行元 ■ あんみつよもぎ亭
発行者 ■ みちきんぐ
pixiv ■ 2361345

印刷 ■ 株式会社 上野印刷所

画像の転載、データ化、web上での
データ共有はご遠慮ください

Admitsu Tomogitei.